





と息子。  
「プカプカ浮いとるだけでいいんやけど、浮輪使えるかな。」  
「ボートならいいけど、浮輪はどうか。」  
「じゃあ買に行こう。」とそれから買物に行く事になり、「お弁当持っていきたい」と旦那が言いだし、それも買いたししてきました。  
朝五時起きで、お弁当を作り、冷ましている間に持っていくものの準備をします。息子が起きてきてのんびり旦那と二人テレビを見ています。行きたいと騒いでいたのに、バタバタしてるのは私一人です。内心、「もうちょっとは手伝ってよ。腹立つな。」と思いつながら、準備をしました。

七時半ごろ息子が、「おなかすいた。」  
「早めに行つて、向こうに着いてからお弁当食べて泳げばいいやろ。」と旦那が言い、八時には出発です。九時半には琵琶湖について、いつもの駐車場に車を入れ、荷物を持っていつもの場所にシートを敷こうと思つたら、遊泳城が昔より狭くなつていて、かなり奥に行かないとすぐに泳ぎに行けなくなっていました。人も少なく寂しいかぎりです。でも息子も旦那もお弁当を食べ終わるとすぐに服を脱いで泳ぎに行きました。もつと暑くなるかと思つていたのですが、風もあり木陰に場所を取つたので、涼しく泳がなくても過さずやすかつたです。旦那は「つかれた。ぜんぜん泳げん。なんでや」と。年を考えると。もう五十過ぎとるんやよ。喜の小さい頃のように出来んて。」と、気持ちはそのままで、ブランクがあつても泳げると思つている旦那に、あきれやら、おもしろいやらで、つい大笑いしてしまいました。昼を過ぎて、もう帰る準備をし、私の行き

かつた黒壁スクエアに行きました。行ってわかつたのですが、ここは興味の無い男連中と一緒に来ても楽しくない所。同じ興味の人や、女同士でない、ゆつくり見て回れませんか。あつ、これがいいな」と寄り道しても、サツサと行つてしまつて、二人ともそばにいません。「もう！」と思いつながらあとを追います。それだけで疲れてしまいました。

た。ここは今度スタツフと一緒に来ようと思つ、一時間ほどで帰路に着きました。親子三人の夏が終わりました。来年はどうなるのか、少し楽しみにしています。

終り

赤坂・町めぐり

原由里子

前回の号では、金山にある化石館と明星輪寺に行き、途中の道がかなりの急勾配でかなり疲れて、赤坂の町並みを見ずにそのまま帰つたと書きました。

今度は、赤坂の町をじっくり見ようとあつた。休みの日、自転車で乗つて赤坂に向かいました。

大垣市赤坂は、中仙道六十九次の宿場町として栄え、天下分け目の関ヶ原合戦で徳川家康率いる東軍の本陣を構えるなど歴史深い町。

旧街道から一本中に入つた脇道も、素晴らしい特徴的な景観を見ることが出来ます。古い家並みの路地など歴史的雰囲気と生活感が合わさつた景観。緑や水と調和した美しい路地に参道など社寺まで直接的な道が続く景観です。



く渋滞していました。"何だろう?"と思いついて進んで行くと、どうも矢橋の会社の木材が石灰を運ぶ列車が踏切で止まっていた。そして五分後、やつと列車が動きだし、遮断機の音が止まり、やつと通れました。

線路を越えて少し行つたところに、絵手紙が展示してある所に着きました。そこは、建物に入らなくてもショーウィンドウの絵手紙展示なので誰でも気軽に見られるようになっていました。絵手紙教室の生徒さんの作品のようで、どれも素敵で、季節の花の絵手紙や赤坂の町並みを長い紙に書いてある絵手紙もありました。

言葉といつか文章が書いてあるのですが、本当に小さく細かく書いてあり、ガラス越しというのもあり、読み切れなかつたです。その後、谷汲の道標や所部太郎像を見たり、中山道の昔の宿場町の様子の絵が大きな看板になって飾つてあつたので、そこも写真を撮りました。

別の場所に移動し、お嫁入り普請探訪館という建物があります。この建物は、天皇に嫁ぐ途中に花嫁が休憩に使つた建物だそうなんです。

その建物の中には、嫁入り道具などが見れるらしく中には入れますが、中には入るには、この建物を管理している人に連絡をして、その人に鍵を開けてもらつたら入るみたいです。"なんかめんどくさいな。まあいいか"と思つてしまいました。

前に社長に赤坂駅も見に行くといいよと言われた事を思い出して、駅に向かいました。

赤坂の駅は昔のままの建物で、木造の味のある感じが本当に素敵です。映画で使われても不思議じゃない感じ。いろんな角度から写真を撮り、自転車であちこちサイクリングしながら帰りました。

おわり





# 川風

しらしみほ

2012年9月3日

風地蔵新聞

第107号

2012年9月3日

風地蔵新聞

第107号

玉龍旗が終わって、8月27日まで、長い夏休みのりおん。福岡で会社見学やら就職の事もあるので、先生の計らいですが、初めての事に大喜び。学校はバイトが禁止なので、あたしのお弁当屋さんの仕事を毎日手伝ってくれてますが、これがまた手放せないほどよく働き、皆から重宝がられてます。今週の土曜日は、お父さんの仕事を手伝いに行くと、さうですよ。もちろん、土木のお仕事ではなく、その日は年に一度のお掃除、片付けの日らしいのです。おばあちゃんも、すき焼きを作ってくれてたり、お寿司を食べに連れていってくれたり、本当によくしてもらってます。帰る前日は、サフリパークへ、旦那ちゃんの弟家族も一緒に、おばあちゃんも連れていってくださいます。総勢8人の旅行です。お盆には、法事もあり、長男の娘のりおんも初めての出席でお披露目です。二人っきりの家族から、一気に親戚が山のように増え、うれしそうです。帰る日までの日曜日は、そんなこんなで全部埋まり、お盆休みに

は、熊本親戚のすつぽんと馬料理屋さんや、串揚げ屋さん、お墓参りにいきます。このすべてが、お父さんの親戚ですから。りおん、こんだけ思い出ばつくと、あと半年の寮生活も寂しくなかる？うちにはこれだけ親戚があるーひとりじゃないとよ。あと少しがんばりなせ。そのことが、おとうさんもおかあさんも一番安心することよ。」と言ってくれるし、この夏休みじゅう、あさ、6時から2時過ぎまで、一緒に働いていきます。特に調理の時、大きなごはんの釜が二つ、その横にでかいオープン、そして揚げ物の機械がフル活動してる前で、めしを、140個とか次ぐのですが、風が通らず、室内何度？みたいな灼熱地獄での作業で、首に巻いた氷もすぐに解けるほどです。ふたりで交代でフライとなりながら、なったらなつたで、「たつたそんなくらいで！」と互いに檄を飛ばしあい、こんなに汗が出たんだというくらい、全身の毛孔が、45年ぶりに全開し活躍しています。そのあと、配達ですから、息つく間もなく、ふうって、いいながら、時間内に配り終

えるように、ボーとしてる時間がなくものすごいスピードで、働きます。ふたりでばたばたすごい汗を流してる時間が日々刻まれている事がうれしいです。まあ、高校3年生なので、仕事から帰ると、携帯は持つてないのですが、あたしの携帯をずっといじってます。「それくらいはよかるもん。」とお父さんがすぐかばいます。「だめ！！勉強もしないかんけん、時間は決めるよ！自分でセーブできんとかね！」と怒ります。お父さんが仕事帰ってくる前に、りおんがお風呂掃除をします。洗濯か、掃除機と床拭きは、二人暮らしの時からやっていたように、どっちかが選んで決めてやっています。玉龍旗で、子どもたちが来たときから、我が家はいつもよりきれいです笑。お父さんが、「ただいまー」と帰って来て、お風呂に入った時、「りおん！来てみて！」と呼びます。「なあに？」「これ触ってみ？」「うっわ。」現場の作業服が、びっしょり濡れてて、泥とコンクリートでじゃりじゃりして汚れます。「おかあさん、おとうさんこんなになつてはたらいとる

とに、さつき、なんで遅いと！電話してよ！おなかすいたーつて、言ったの？しんじられん。」と言われまます。あたしが急に痛みだした歯の治療にりおんもついていき、見てもらつたら即、おやじらすが虫歯で抜きましようという事に。軽く抵抗してましたが、夏休みの今のうちに！と、その日に抜いて

もらいます。「次はお父さんの番やお！」歯医者に行った事がない、旦那ちゃんも歯医者連れて行く作戦です。あたしが言っても、「いやつたい。」と言います。が、りおんが言うとおおおう」って言います。恐くて歯医者に行けないお父さんはカッコ悪いですもんね。こうして、ことしの正月父と子、

ケンカしてから、どうなる事やらでしたが、8ヶ月経って、みんなが成長し、プチケンカはしながらも、互いを思いやつて少しづつ家族の絆を紡いでいます。

## 名前のルーツ

こどもが4人も居ると夏休みの毎日は戦争だ。戦時中なので？普通に誕生日を忘れていたりする。夫婦そろって・・・長男にお昼頃「今日、誕生日なんですけど」と言われてしまった。可哀想なので4人を連れて本屋さんへ。

ウチは基本的に誕生日プレゼントは無し。両方のじいちゃん・ばあちゃんから買ってもらうので、ぜいたくすぎるからだ。

本を買うだけなのに一仕事。本屋さんに行ったことで、ずっと気になっていたことが発覚した。三男に「柊」と名付けたが、どうして柊の字にこだわっていたのか、自分でもわからなかった。お店の中をぐるぐるしていると吉本ばななさんのキッチンという小説が目に入ってきた。

高校生の時に読んだ本だ。お気に入りだった本。もしかして？とペラペラめくっていくと、脇役の男の子の名前が「柊」だった。恋人が交通事故で亡くなり、肩身のセーラー服を学校に毎日着て行く高校生の話。全く忘れていたが、脳みそのどこかに引っかかっている、20年経って自分のこどもの名前に付けることになる。不思議だ。

ウチの柊が将来、違う意味でセーラー服を着ないことを願うけど。

庭師 奥田良樹